



市政に関する動きの一部を紹介します

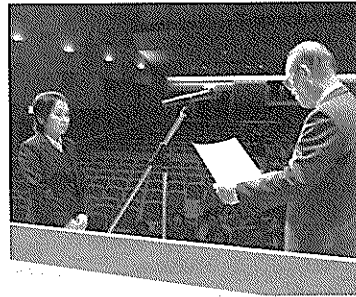
11/21 子どもの状態に合わせて受診を

子育てキャラバン隊 in 真庭（山陽新聞主催）が久世エスパホールで開かれました。「子どもが病気になる時」と題したセミナーでは、5人の専門医師が症状と対処法について発表。参加者は熱心に聞いていました。



11/23 長年の貢献に敬意を込めて

長年にわたって事業所の発展に貢献した人を表彰する「優良従業員表彰」（市・真庭商工会共催）が勝山文化センターで開かれ、関係者ら約100人が式に出席。受賞者に表彰状と記念品が贈られました。



12/2 世界中の子どもの現状を知って

「世界がもし100人の村だったら」の著者、池田香代子さんを迎えた、市人権教育講演会が、勝山文化センターで開催され、約500人が参加。世界の貧困や飢餓を考え、今何をすべきなのかを訴えました。



12/5 プロの声優らが朗読会を公演

真庭市立図書館検索システム稼動を記念して「物語シアター・朗読会」が落合公民館で開催され、約100人が参加。「めちやくさ」と「龍の子太郎」の2作品が熱演され、会場内は物語の世界に浸っていました。



12/5 障害者福祉の理解を呼び掛ける

障害者週間啓発事業が、落合、久世、蒜山の3会場に分かれて行われました。参加した地域の障害者や施設職員、県市職員など36人は、チラシや障害者施設の作品などを配付し障害者福祉への理解を呼び掛けました。



真庭の取り組みを発表するバイオマス政策課の森田上級主事

バイオマス利活用の先進地が情報交換

バイオマスエネルギー地域システム化実験事業情報交換フォーラム in 真庭（主催・（独）新エネルギー産業技術総合開発機構（略称・NEDO））が、12月10日～11日、久世エスパセンターで開催されました。これは、地域循環型社会の実現をめざし、バイオマスの収集・運搬からエネルギー変換・エネルギー利用に至るまでの様々なデータの収集・蓄積・分析を行う「バイオマスエネルギー地域システム化実験事業（事業期間：平成17～21年）」

を受託する全国7つの事業者が情報交換し、事業の一層の促進を図るために開催されたものです。真庭市は同事業において山林の切り捨て間伐材や風倒木などを木質チップに加工するほか、木質ペレットや樹皮を各種ボイラーのエネルギーとして利用する「地域の仕組みづくりの構築」に取り組んでいます。同フォーラムは平成20年度から実施されており、今回が最後。成果の取りまとめも含め、活発な意見交換が行われました。



2日目に行われた現場見学の様子

図書館へ行こう!

本の紹介

美甘保健文化センター図書室

〒717-0105 真庭市美甘4134
TEL 0867-56-2611 FAX 0867-56-2033
開館時間 8:30~18:30
休館日 年末年始

今月おすすめの本

「だいくのたこ8さん」

内田鱗太郎/文 田中六大/絵
くもん出版

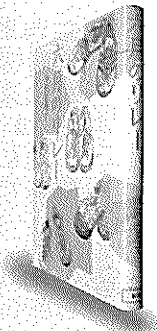
内田鱗太郎さんからの、ユーモアあふれるメッセージをお楽しみください。田中六大さんの、ひいひいひいひいおじいさんは大工の六と呼ばれ、江戸では知らない人はいない名大工だったそうです。ひいひいおじいさんは大画家、狩野永徳だそうです。



「六月のリレー」

伊沢由美子/著 偕成社

6月にしては季節はずれの強い風が吹き荒れる中始まった中学校の体育祭。准たち2年D組のリレーメンバー5人は、それぞれに抱え込んだ事情も足の速さももちろん異なりますが、最後までやり遂げようと力を尽くします。まさにリレーを見ているような疾走感のある、さわやかな物語です。



「まいにち、針仕事」

石川ゆみ/著
世界文化社

だらかな気持ちで作ることが一番! フリーステッチ、裁ちっぱなし、ジグザグで合わせるだけ、と裁縫初心者でも簡単に作れるバッグや洋服、エプロンなど32点を紹介します。



「ゲゲゲの女房」

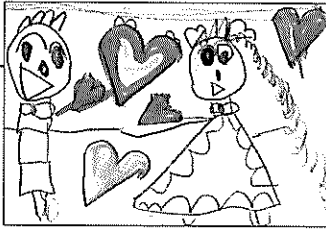
武良布枝/著 実業之日本社

著者は「ゲゲゲの鬼太郎」の生みの親であり、妖怪研究の第一人者として知られる巨人、水木しげるの夫人です。自らを「平凡な人間」と語る、著者の目に映った異能の天才の真実と、夫と歩んだ自身の激動の人生への思いを率直に語った、感動の初エッセイ! 平成22年度前期の連続テレビ小説の原案となりました。



走り出した2つの針
秀七様の想い乗せて
春の風に揺れる
櫻の花の色褪せた
時の列車

一カッパ



▲とくやま ふさ



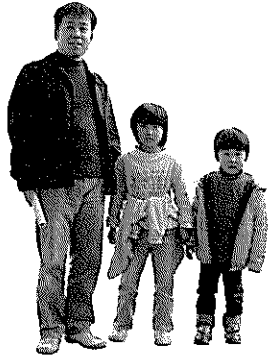
▲PN 柏組

▲PN レイラ

とても感動しました

仲前 博さん、晴香さん、
知輝さん、(野川)

物語シアターに参加しました。興味があつたわけではなく、家族から勧められたことがきっかけでしたが、実際に聞いてみるとすごかったですね。もちろん、プロの声優による朗読を聞くのは初めてでしたが、さすがに声に迫力があり、一人が何役もこなし、また、声だけでなく、笛や太



鼓などの効果音が雰囲気をつくり出して、物語が映像となつて頭の中に浮かび出てくるような感じがして、とても感動しました。子どもたちには少し難しいところがあつたかもしれませんが、いい体験ができたのではないかと思います。

ボランティアに参加しました
西谷玲子さん(上水田)
コスモスの園(五名)の餅つき交流会にJ A びほく女性部北房支部が参加しました。2年目を迎えたわたしたちの取り組みでは、地域のボランティアへの参加を目標にしている、コスモスの園の夏祭りに

は昨年から参加しています。個人的には、何度も来ているので、今回も仲の良いなじみの顔に会えるのを楽しみにやってきました。この園の取り組みには地域の人がだれでも参加できるので、みんなであれあいを楽しみましょう。



取材先で、こんにちは。

真庭人
まにわびと

宇宙の話にワクワクしました
宇宙の話題にワクワクしました
おもしろ宇宙実験教室に参加しました。宇宙と聞くと、自分にはとても手の届かない、遠い世界のように、「宇宙飛行士になりたい人」と聞かれたときは手を上げませんでした。でも、宇宙や宇宙飛行士についてのお話を聞いているとワクワクしてきて、終わるころには宇宙飛行士になれたらいいなと思うようになりました。真空や超低温などの実験も、とても楽しかったです。

